

- プログラム -

1. 新規参加者が加わるグループは、参加者同士で自己紹介を行います。(1人1分以内)

- ・「今日の学習会にこんなことを期待しています」など、ひと言加えながらの自己紹介。

2. グループ別に、司会者、記録係1名を選びます。発表者も選んでください。(3分間)

- ・前回の司会者や記録係の方がお休みの場合は、新しく1人ずつ選んでください。
- ・次回の学習会では各グループで議論した内容について発表を行いますので、発表者を選んでください。発表は何人で行っても結構です。
- ・ジャンケンなど、どんな選び方でも結構です。

〔役割〕

司会者：話し合いをどんどん進めてください。なるべく全員から意見を出してもらいましょう。

記録係：グループの話し合いの記録をとりましょう。コピー用紙や模造紙などに議論の過程や要点などを記録しておくと発表のときに役立ちます。

3. 前回の作業(カードを使った情報集約)の確認を行い、グループ内で情報の共有を行います。(10分間)

- ・「家庭ごみの問題」について、現状、どんな問題があるのかみんなで考えてみましょう！
- ・新規参加者の方にも、情報を提供してもらいましょう。追加するものがあれば書き足してください。

4. 「家庭ごみの問題」の情報集約が終了したグループは、問題を解決するための方法について考え、各主体の役割を導き出しましょう。(残りの時間で…)

- ・家庭ごみの問題の集約ができたなら、「その問題を解決するためには何をしなければならないの?」、「誰が解決するの?」、「各主体が連携したらスムーズに問題を解決できる?」などについて、みんなで考えましょう!
- ・問題の解決のために、誰が、何を、いつ、どこで、なぜ、どのようにして、といった視点から話し合うのも良いかもしれません。
- ・議論の結果、導き出された意見はポストイットに書いて模造紙の各主体の欄に貼り出しましょう。
- ・今回はここまでの作業を目指します。

模造紙の例

家庭ごみの問題～各主体の役割～				班
課題・問題点	住民	町内会・自治会	その他団体等	行政
ごみの収集場が汚れている	付箋 ・ルールを守る ・意見を出す	付箋 ・ごみステーションの維持管理	付箋	付箋 ・ごみステーションの設置助成 ・相談

↑
集約した問題を記入します。
(記録係の方をお願いします。)

家庭ごみの問題を情報集約し、グループ化したタイトルを単位に解決方法を考えますが、分けて考えた方がよいなど、必要であれば問題を細分化しながら議論を進めましょう。

5. 「家庭ごみの問題」を解決するための各主体の役割分担が終了したグループは、発表用にまとめの作業を行います。(時間があれば…)

- ・議論の結果、導き出された各主体の役割や意見を模造紙にまとめましょう。
- ・模造紙の使い方は各グループの自由です。
- ・議論の経過について発表者が発表しやすいようにまとめてください。

6. その他

- ・休み時間は各グループの自由です。
- ・グループの議論の進捗状況が早いから良くて、遅いから悪いということではありません。
- ・他のグループの議論も参考になります。どんな議論をしているか、休憩時間など利用して自由に見学してください。自分達のグループの議論がさらに深まるかもしれません。
- ・各グループに事務局職員が入りますので、ご不明な点はお気軽にお声掛けください。

ワークショップの注意点

- その1 発言は簡潔明瞭に、手短に。：全員に話す機会を提供しなくてはならないからです。
- その2 人の意見は最後まで聴く。(ただし、制限時間を超過している場合は、注意を促します)
- その3 人の意見を否定しない。：自分と違う考えをするにはその理由があります。
- その4 人の意見を認めたくえで自分の意見を言うこと。
- その5 人格攻撃をしない、挑発はしない。：当然ですね。
- その6 事実に基づいた発言をし、自信をもって発言すること。
- その7 誰かが発言しているときには、その意見を聴いているということを態度で示しましょう。
- その8 参加するということは、何が何でも発言するということでもありません。今はまだ考えがまとまらないという場合は、それを表明すればいいのです。
- その9 全員が納得できるところがどこかを考えてまとめましょう。場合によっては各論を併記したまとめでもいいです。「ひとつにまとめる努力をしたけれど、まとまらなかったということまでは確認できました」というのも、立派なまとめです。全員が一致したわけではないというところまでは、全員が一致して認めているのですから。